

厚木精華園生活2課における新型コロナウイルス感染症 の発症にかかる報告書

社会福祉法人かながわ共同会
厚木精華園・同園対策会議

目 次

1	感染者の状況	1
2	経 過	2
3	ゾーニングについて	8
4	感染症後の支援等運営について	8
5	検証結果	9
6	参考資料	15

当園生活2課での令和2年12月11日以降の新型コロナウイルス感染症の感染にかかる経過等について、次のとおり報告します。また、感染拡大防止や再発防止等については、県コロナクラスター対策チーム C-CAT の助言や所管保健所の指導の下、徹底したゾーニングや三密を意識した行動をとると同時に、正しいマスク着用・丁寧な手指消毒・正しい防護服等着用の徹底を行いました。

併せて、法人・各園及び関係者の皆さんからの職員派遣・心の応援物資など具体的な支援等をいただき、感染寮の感染対策や感染拡大防止等に取り組めたことにも感謝しつつ報告させていただきます。

1 感染者の状況

感染者の状況は次表のとおりであり、感染者は利用者16名（うち8名入院治療・8名園内治療）・職員10名（うち1名入院治療・9名自宅等治療）・計26名であった。

また、感染者数は12月21日(24名)をピークに、感染からほぼ1ヶ月(1月14日)で感染症対応解除となった。

月 日	利用者		職 員		合 計	
	当日数	延人数	当日数	延人数	当日数	延人数
12/11	1 (1)	—	1	—	2 (1)	—
12/13	8 (1)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	11 (2)	13 (3)
12/14	(1)	9 (3)	—	4 (1)	(1)	13 (4)
12/15	4	13 (3)	2	6 (1)	6	19 (4)
12/16	(1)	13 (4)	1	7 (1)	1 (1)	20 (5)

12/17	(2)	13 (6)	—	7 (1)	(2)	20 (7)
12/18	2	15 (6)	1	8 (1)	3	23 (7)
12/21	—	15 (6)	1	9 (1)	1	24 (7)
12/22	①	14 (5)	②	7 (1)	① ②	21 (6)
12/24	①	13 (4)	—	7 (1)	①	20 (5)
12/25	⑥	7 (4)	①	6 (1)	⑥ ①	13 (5)
12/26	—	7 (4)	①	5 (1)	①	12 (5)
12/27	—	7 (4)	①	4 (1)	①	11 (5)
12/28	② ①	4 (2)	①	3 (1)	② ① ①	7 (3)
12/29	1	5 (2)	1 ①	3 (1)	2 ①	8 (3)
12/30	(1)	5 (3)	①	2 (1)	(1) ①	7 (4)
12/31	—	5 (3)	① ①	1	① ①	6 (3)
1 / 1	(1)	5 (4)	—	1	(1)	6 (4)
1 / 2	①	4 (4)	—	1	①	5 (4)
1 / 7	①	3 (3)	①	0	① ①	3 (3)
1 / 8	①	2 (2)	—	0	①	2 (2)
1/14	①	1 (1)	—	0	①	1 (1)

() は入院者数・○数字は退院数・□数字は職場復帰数・①数字は感染隔離解除された通常支援数を表す。

なお、感染症の治療は終了したが、基礎疾患の治療のため利用者1名が転院治療中である。

2 経 過

〔12月11日〕

- 生活2課利用者（1名）が抗原検査で陽性と診断され湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターに入院。併せて職員（1名）がPCR検査を受け12/11に陽性と診断され自宅待機となる。

…利用者は前日より発熱があり12/11に園診療所内科を受診。発熱と採血結果が悪く医療機関通院し検査結果が陽性と診断。職員は発熱等風邪症状があり医療機関受診し12/11に陽性と診断。

- 法人事務局、法人各園長、県障害サービス課（以下「県サ課」）、家族会長に状況報告をする。併せて、感染した利用者の家族に電話連絡する。
- 園内対策本部設置。経過、対策等を協議し、職員への周知を行う。
- 生活2課のゾーニング、備品等搬入、消毒を実施し、生活介護事業は休止とする。併せて、県サ課にN95マスク等物資依頼する。
- 生活2課の食事を使い捨て食器に変更し、昼食から提供する。
- 厚木保健所（以下「保健所」）より、クラスター想定した対応の指示を受ける。併せて、生活2課利用者（33名）・職員（26名）・看護師（5名）合計65名のPCR検査実施の連絡ある。生活1・3課は通常通りの対応を確認する。

- ALSOK メールによる新型コロナウイルス感染症の発症、ゾーニング等対応策を職員周知する。
- PCR 検査の検体を保健所に提出する。

〔12月12日〕

- 園内対策本部会議開催。…毎日2回開催（9：00・16：00）し、感染等病状確認・職員体制・対応策等共有し、園ゲストハウス・生活2課休憩室を職員宿泊場所とする。
- 法人対策本部会議開催（オンライン・第1回）…経過・感染等状況・ゾーニング等対応策・物資・関係者等周知等について共有する。
- 生活2課の家族に感染の経過等電話連絡する。併せて全園の家族・後見人宛に「感染症の発症について」の通知発出する。（別紙1）
- 法人職員、関係者への「感染情報（第1報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-1）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 県知的福祉施設協会長、厚木地区施設長会に「感染情報（第1報）」を電話連絡する。
- 生活2課の食事を使い捨て食器からお弁当に変更し、朝食から提供する。

〔12月13日〕

- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 保健所よりPCR検査結果は、利用者7名・職員2名・合計9名が陽性との結果連絡がある。陽性利用者の医療機関確保は保健所窓口で、陰性利用者の医療機関は園対応での調整となる。陽性利用者は「夜間急変時等緊急連絡先（コロナ119）電話045-285-1019」も活用となる。
- 検査結果を法人事務局、県サ課、関係機関に電話連絡する。
- 保健所より県コロナクラスター対策チームの派遣調整中と連絡がある。
- 職員（1名）が東海大学病院受診し陽性診断で入院と連絡がある。
- 利用者（1名）が発熱等で受診し、検査結果、陽性で海老名総合病院に搬送される。
- 職員（2名）は園ゲストハウス宿泊とする。

〔12月14日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、「職員の皆さんへ」の園長メッセージを配布・レインボーネットに配信する。（別紙3）
- 法人職員、関係者への「感染情報（第2報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-2）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 利用者（1名）が湘南鎌倉総合病院に搬送される。
- 県コロナクラスター対策チームC-CATが来園し、感染者等現状確認・ゾーニング等対応策・マスク等物資の確認があり、生活2課陰性利用者7名・園宿泊職員4名・合計11名のPCR検査の指導を受ける。併せてN95マスク等物資の調達依頼する。
- 県知的福祉施設協会長、厚木地区施設長会に「感染情報（第2報）」を電話連絡・メール配信する。

〔12月15日〕

- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- PCR検査の検体（利用者7名・職員4名・合計11名）を保健所に提出する。
- 県よりN95マスク等物資を受理する。

- 県より施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査実施の連絡を受け、保健所と調整する。
- 保健所より検査結果、陽性（利用者 4 名・職員 2 名）の連絡がある。
- 法人事務局、県サ課、職員の検査結果を連絡する。職員配置にかかる生活 2 課のシフト調整を行う。
- PCR 検査の全員実施について、法人事務局に連絡する。

〔12月16日〕

- 法人職員、関係者への「感染情報（第 3 報）」を法人事務局に配信する。（別紙 2-3）
法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策本部会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査を実施（12/17）となる。
- 厚木地区施設長会に「感染情報（第 3 報）」をメール配信する。
- 保健所より陽性診断とされた職員の自宅待機期間は、「発症から 10 日間」と指導を受ける。
- 法人事務局守部長より、職員宿泊先を「ホテルルートイン伊勢原」が確保でき、使用可能と連絡ある。職員（3 名）の利用希望あり。
- 法人事務局へ、法人各園への支援員・看護師の派遣依頼をする。
- 利用者（1 名）が湘南藤沢徳洲会病院へ搬送される。

〔12月17日〕

- 利用者（1 名）が北里大学東病院へ搬送される。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 県サ課にガウン等物資の調達依頼する。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第 2 回）…経過・感染等状況・ゾーニング等対応策・物資・関係者等周知・法人各園の職員派遣等について報告する。
- 保健所等による施設入所支援の利用者・職員・出入り業者全員の PCR 検査（利用者 86 名・職員 97 名・業者 21 名・合計 204 名）を実施する。（別紙 4）
- 利用者（1 名）が湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターへ搬送される。
- 陽性感染職員 6 名〔発熱・味覚臭覚なし等で重症者なし、医療機関入院者以外〕の現状確認をする。

〔12月18日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。法人他園からの応援職員（12/21～25・7 名派遣予定）の確認を行う。
- 職員 1 名（12/11 陽性）から症状改善し 12/22 より職場復帰可能と連絡がある。
- 保健所より検査結果、陽性（利用者 2 名・職員 1 名：全員生活 2 課所属・業者 1 名・合計 4 名）の連絡がある。法人・園の幹部職員へメール配信する。
- 秦野精華園より感染対策用「ビニールシート」の寄附が届く。

〔12月19日〕

- PCR 検査の結果を受検者に連絡し、生活 2 課のシフト調整等行う。併せて、法人事務局・県サ課に結果報告を行う。

- 法人職員、関係者への「感染情報（第4報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-4）
法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 厚木地区施設長会、厚木市等関係機関に「感染情報（第4報）」を配信する。
- 法人事務局でルートイン伊勢原に職員（1名）宿泊手配を行う。
- 秦野精華園職員親睦会より「心の応援物資（カップラーメン 600食・ペットボトル 650本）」が届く。
- 「厚木精華園での新型コロナウイルス感染と今後の対応について」（別紙5）を、法人全職員対象に理事長メッセージを发出（「法人お知らせ」に掲載）する。

〔12月20日〕

- 県サ課より、土・日曜日についても利用者状況等定時報告の依頼ある。
- 利用者、職員ともに新たな症状等みられず、通院等の必要がないことから夕方の園内対策会議は開催せず。
- 法人事務局でルートイン伊勢原に職員（1名）の宿泊調整を行う。
- 法人事務局で厚木精華園に派遣した職員を対象に、派遣終了後のPCR検査を実施することになり、検査キットは法人事務局で管理する。

〔12月21日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。併せて、職場復帰職員や入院利用者の退院調整等を行う。
- 法人各園からの応援職員（支援員6名・看護師1名）が到着し、オリエンテーション後、各所属課で業務開始（12/21～25）となる。
- 保健所より、感染していない寮の利用者の陽性（12/18）を受け、残りの利用者のPCR検査を12/24実施で調整中と連絡がある。

〔12月22日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 利用者1名（12/11陽性で入院）が退院し、生活2課の生活に戻る。また、職員2名（12/11陽性・12/13陽性）が職場復帰し生活2課で勤務する。
- 県福祉部長（玄関で名刺交換のみ）・県障害サービス課長が激励のため来園し、経過等説明した後、生活2課の現場をクリーンゾーンから視察。園内対策会議で挨拶があった。

〔12月23日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。法人他園からの派遣終了職員のPCR検査の実施を共有する。
- 法人事務局守部長が、法人他園からの派遣終了職員のPCR検査キットを持参し、園内対策会議で報告する。（別紙6）
- 県サ課より、ガウン等支援物資が届く。

〔12月24日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第3回）…感染者等状況・職員の宿泊先（ホテル）の確認・法人他園

からの応援体制・派遣終了、園発症収束後の PCR 検査・従事者手当・労災関係等について協議する。

- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/17 入院治療）が退院し、生活 2 課の生活に戻る。
- 生活 2 課の感染していない寮利用者（16 名）の PCR 検査の検体を保健所に提出する。
- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/16 入院）の退院見通しが立ち、12/28 に退院予定となる。
- 法人各園からの応援職員のうち、支援員 1 名が派遣終了となる。

〔12 月 25 日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 利用者 6 名（12/13 陽性 4 名・12/15 陽性 3 名）が感染隔離解除となり通常支援となった。併せて職員 1 名（12/13 陽性）が職場復帰となった。
- 利用者 2 名（12/13 陽性 12/14 入院・12/15 陽性 12/17 入院）の退院見通しが立ち、12/28 に退院予定となる。
- 職員 1 名（12/13 陽性）が自宅待機解除となり復帰可能となる。
- 法人各園からの応援職員のうち、支援員 5 名が派遣終了となる。
- PCR 検査（感染していない寮の利用者 16 名）の結果は全員、陰性と保健所より連絡がある。

〔12 月 26 日〕

- 職員 1 名（12/15 陽性）が自宅待機解除となり復帰可能となる。

〔12 月 27 日〕

- 利用者 1 名（12/13 陽性 12/16 入院）が 12/28 に退院予定であったが発熱があり退院延期となる。利用者 1 名（12/18 陽性）が感染隔離解除となり通常支援となる。
- 職員 1 名（12/18 陽性）が職場復帰となり、職員 1 名（12/13 陽性：入院治療中）が 12/31 退院予定、職員 1 名（12/18 陽性）が 12/27 で自宅待機解除の連絡がある。

〔12 月 28 日〕

- 利用者 2 名（12/13 陽性 12/14 入院・12/15 陽性 12/17 入院）が退院し、利用者 1 名（12/18 陽性）が感染隔離解除となる。
- 職員 1 名（12/16 陽性）が職場復帰となる。
- 法人が購入した PCR 検査キットを対象職員に配布（12/28～29）し、検査結果の報告を周知する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、年末年始の対応等確認する。

〔12 月 29 日〕

- 利用者 1 名・職員 1 名が陽性と診断される。
- 職員 1 名（12/21 陽性）が職場復帰となる。

〔12 月 30 日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図り、年末年始の対応等確認する。併せて、生活介護事業・清掃業者の業務再開を 1/11 まで中止とする。
- 利用者 1 名（12/29 陽性）が厚木市立病院に入院となる。
- 職員 1 名（12/15 陽性）が自宅静養解除となる。

〔12月31日〕

- 職員1名（12/16 陽性・入院）が退院となり、肺炎併発のためCT検査を1/4に受ける予定となる。

〔1月1日〕

- 利用者1名（12/18 陽性）が湘南鎌倉総合病院イノベーションセンターに入院となる。
- 法人が購入し実施したPCR検査結果は、職員1名（12/29 陽性）以外は、全員陰性と最終確認する。
- 介護保険事業所「ひかりデイサービス」より事業所有志による慰労金の寄附を受ける。

〔1月2日〕

- 利用者1名（12/18 陽性・湘南鎌倉総合病院イノベーションセンター入院）が病状急変し横浜医療センターに転院する。
- 利用者1名（12/15 陽性）が感染隔離解除となる。

〔1月4日〕

- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。併せて、感染者の状況が、利用者4名（4名入院治療）・職員1名（自宅待機）となったため、新たな感染者が出ない限り毎日開催している「朝の会」で感染状況・対策等の情報共有等を行うことにする。

〔1月5日〕

- 法人職員、関係者への「感染情報（第5報）」を法人事務局に配信する。（別紙2-5）・法人事務局より、「法人お知らせ」「HP」の掲載手配する。
- 園内対策会議開催。…感染状況・対策等の情報共有を図る。
- 労基署に新型コロナウイルス感染症感染による労働者死傷病報告書の提出、及び給付金請求について確認する。
- 生活1課職員1名が風邪症状あり医療機関でPCR検査を受け、同利用者1名が高熱が続き、血液検査の結果から診療所内科医の判断で感染の可能性が高いと判断し、即座に生活1課をゾーニング等感染症対応をとる。

〔1月6日〕

- 生活1課職員の昨日の検査結果は陰性と連絡がある。また、同利用者1名が医療機関を受診しPCR検査を受ける。

〔1月7日〕

- 生活2課利用者1名（12/13 陽性 12/16 入院）が退院し、生活2課の生活に戻る。また、同職員1名（12/29 陽性）が職場復帰する。
- 診療所内科医に生活2課の感染等状況を報告し、今後の対応を相談する。生活2課での最終発症日（12/28 発症 12/29 陽性）から14日間経過する1/12より通常運営とし、感染対応解除後もフェイスシールド・マスク着用は継続との助言を得る。
- 法人運営会議にオンライン参加し、感染状況等の報告を行い、法人対策本部会議開催（オンライン・第4回）…感染者等状況・職員の宿泊先（ホテル）の確認・従事者手当・労災関係等について協議する。